

2013年3月6日

内閣総理大臣  
安倍晋三 様

新日本婦人の会

会長 笠井貴美代

## 待機児解消のため、国の責任で認可保育所の大幅増設を ただちにおこなってください

私たち新日本婦人の会は、50年前の創立のころから、女性が働き続ける権利と子どもが豊かに成長する権利の保障を求め、「ポストの数ほど保育所を」と保育所増設運動にとりくんできました。

いま、全国で待機児が数十万人とも、数百万人とも言われ、東京・杉並をはじめ、足立区や埼玉でも認可保育所に入れなかった母親たちが異議申し立てに立ちあがるなど、待機児解消の対策はまったなしです。

待機児がこれほど大きくひろがった責任は国にあります。歴代の自民党・公明党政権は、保育を儲けの対象とする企業参入を促し、入所定員や設置基準をゆるめて詰め込みで安上がりの保育をすすめ、認可保育所を増設してきませんでした。民主党政権でも、子育て関連の補助金が一般財源化され、具体的な使い方が自治体まかせとなり、ますます待機児増加に拍車をかけました。

安倍首相は2月28日の所信表明演説で、「待機児解消に向けて、受け入れ児童数を拡大する」と表明しました。それならば、国の責任で認可保育所の増設を早急におこなうことです。決して詰め込みで「受け入れ児童数を拡大」するようなことがあってはなりません。詰め込み保育が一因で、保育所での事故が増加し、保護者の不安がひろがっています。厚労省の調査でも「利用したい保育サービス」に「認可保育所（公立）」と答えた人が75%にのぼっています。

私たちは、次のことを強く要請します。

- 1、国の責任で、認可保育所の大幅増設を早急におこなってください。